

平成26年度 政策提言書



長崎商工会議所青年部

目次

はじめに

長崎商工会議所青年部 政策提言委員会 委員長 松石 崇

第一章 「稲佐山電波塔ライトアップ常設化」

提言のねらい

長崎の観光状況

これまでのY E Gの取り組み

「2014 光のおもてなし」アンケート結果

全国のタワー状況

提言テーマ「愛」・「遊」・「祈」

各地からの稲佐山電波塔

最後に・・・

第二章 「斜面地活性化プロジェクト」

定住人口の増加にむけて・・・

提言のねらい

斜面地の状況

防災について

空き家・建築、リフォームについて

斜面地の楽しみ

最後に・・・

平成 26 年度政策提言委員会

地域経済活性化担当副会長	藤本 陽一郎
政策提言委員会 委員長	松石 崇
副委員長	武田 誠
副委員長	橋本 剛
委員	有田 好史
委員	泉田 潤一郎
委員	岩永 貴之
委員	片岡 義勝
委員	蕪木 健人
委員	久保 勘一郎
委員	瀬戸 正志
委員	中山 直二
委員	野田 賢司
委員	牧 正康
委員	蒔本 憲明
委員	中山 大輔
委員	野上 大輔

はじめに

近年の我が国の経済は財政改革、金融政策の効果により円安、株高の流れを作り、リーマンショックの落ち込みを解消し、デフレ脱却に向かう希望が見え始めています。

また、2020年の東京オリンピックの開催が決定され、さらなる景気の回復に希望が持てる状況にあります。

世界の経済においてもアメリカ経済の回復やアジアを始めとする発展途上国の経済も好調さを継続しており、2013年の訪日外国人旅行者は1000万人を超え、2014年は1300万人を超える状況になっています。

長崎県の状況は平成24年、長崎夜景が世界新三大夜景に認定され、その他にもハウステンボスの「光の大国」、ランタンフェスティバルなど夜型観光が維持され平成25年度の長崎市の統計調査では観光客数が約608万人と前年度より12万人以上上回り、宿泊客数も約270万人で前年度より約10万人増えている報告がなされています。

また、世界文化遺産登録に向けていた産業革命遺産、軍艦島（端島）や教会群とキリスト教関連遺産の興味を引き、今後も観光客は順調に増えていくでしょう。

今、これらの「好機」を維持・継続させ、相乗効果を創出することで、今後の観光客誘致・交流人口の拡大に繋げなければいけません。

一方、全国的にも問題になっている定住人口の減少、少子・高齢化の進行、さらには空き家増加問題などありますが、長崎では他県より進行のスピードは著しく、深刻な状態となっております。

今年、平成26年度政策委員会は「**現状の長崎市の問題点は何か**」「**今後、長崎に必要な物は何か**」そして、「**今後我々に出来る事は何か**」を考え委員会を重ねてきました。

テーマの選定段階で我々長崎市民として考えられるのは「長崎の斜面地」と「観光事業」、「地域の活性化」でした。

我々、長崎に住む者として、長崎で生きる人として、誰もが考え・難しい問題ではありますが、今後も「明るく」「楽しめる街」を次世代に引き継ぐべく、取り組む事としました。

長崎市におかれては、種々施策を講じられることとは思いますが、長崎商工会議所青年部として長崎市政に少しでも貢献できないかと考え、「稲佐山電波塔ライトアップ常設化」と「斜面地活性化プロジェクト」の具体的提言をいたします。

長崎YEG 政策提言委員会
委員長 松石 崇

長崎商工会議所青年部 政策提言書 第1章

1 プロジェクト名

「稲佐山電波塔ライトアップ常設化」

「長崎のシンボル」を全世界へ

2 提言のねらい

平成24年、長崎夜景が世界新三大夜景に認定されました。

その他にもハウステンボスの「光の大国」、ランタンフェスティバルなど夜型観光が維持され順調に観光客の宿泊数が増えています。

また、世界文化遺産登録に向けていた産業革命遺産、軍艦島（端島）や教会群とキリスト教関連遺産の興味を引き観光客が順調に増えています。

これらの「好機」を維持・継続させ観光客誘致・交流人口の拡大に繋げなければいけません。

この観光客数の増加の裏側に長崎の問題点「少子高齢化・斜面地空き家問題」など全国的な問題でもあります。地方都市として対策すべき問題である事は間違いありません。

結果、夜景のボリュームの減少や、暗い街並みの印象につながりかねません。

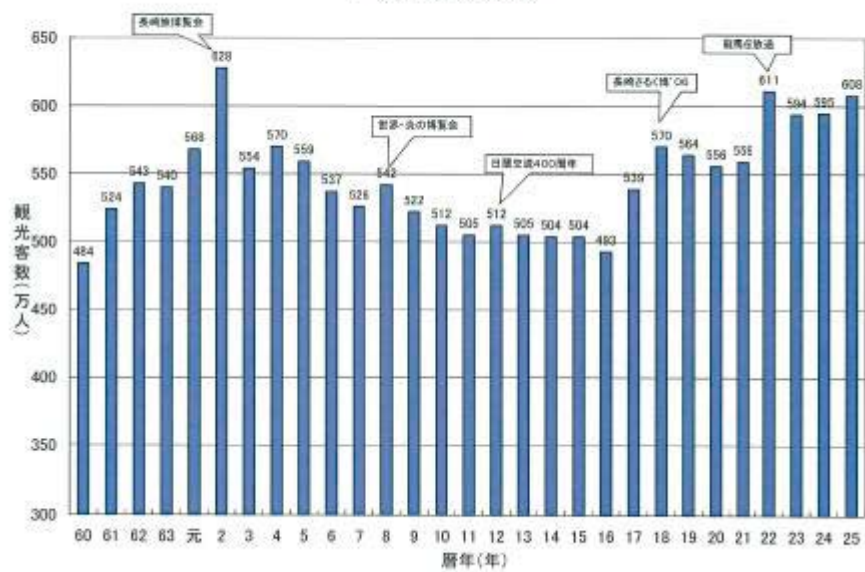
観光客数の維持、さらなる交流人口の増加。そして再度訪れたい街「ながさき」を継続させるために、少しでも長崎を魅力的で活力のある町。そして地元長崎をいつまでも思い・愛し続ける、続けさせる「ながさき作り」をしなければなりません。

3 観光客数の状況

まず、長崎市の観光客数の推移です。

長崎市の統計調査によると、平成2年の「長崎旅博覧会」が628万人。その後、平成17年より観光客数は増加し、翌年の平成18年には「さるく博」の大成功で570万人になりました。平成22年には竜馬伝の放送で人気となり611万人。平成25年には「世界新三大夜景」や世界遺産登録にむけた活動などが影響し608万人となっており、本年平成26年は前年を上回るとの見方がされております。

1 観光客数の推移



また、近年には観光客数の増加に伴い、宿泊客数も増加しており、「ランタンフェスティバル」や「長崎夜景」などの夜型観光が好影響を及ぼしている結果となっています。

宿泊客・日帰り客の推移

【単位：人、％】

年	宿泊客		日帰り客	
	人数	前年比	人数	前年比
平成10年	2,567,300	△9.0	2,550,400	6.4
平成11年	2,485,200	△3.2	2,562,600	0.5
平成12年	2,535,000	2.0	2,588,700	1.0
平成13年	2,464,600	△2.8	2,588,000	0.0
平成14年	2,342,400	△5.0	2,700,800	4.4
平成15年	2,412,000	3.0	2,625,500	△2.8
平成16年	2,253,700	△6.6	2,681,000	2.1
平成17年	2,311,400	2.6	3,082,100	15.0
平成18年	2,533,600	9.6	3,165,700	2.7
平成19年	2,521,500	△0.5	3,119,400	△1.5
平成20年	2,460,100	△2.4	3,099,400	△0.6
平成21年	2,401,700	△2.4	3,183,900	2.7
平成22年	2,557,700	6.5	3,550,600	11.5
平成23年	2,529,300	△1.1	3,415,400	△3.8
平成24年	2,586,800	2.3	3,366,100	△1.4
平成25年	2,694,100	4.1	3,383,900	0.5

4 これまでのYEGの取り組み

平成24年度長崎YEGが「地域経済の発展に貢献する」をテーマのもとに政策提言委員会を発足させました。

この時の提言内容は「コンベンションセンター施設整備計画への提言」、「ながさきひかるプロジェクト」の二つの提言でした。

翌年、平成25年度は地域活性委員会が長崎夜景のテーマ曲を作成し、長崎夜景の認知度を上げたいとの思いから、世界的バイオリニスト葉加瀬太郎氏に長崎夜景のテーマ曲の楽曲依頼をし、多くの方々のご協力のもと「長崎夜曲」が生まれました。

翌年にはアルバム「E tupirka」に収録され、全国公演で演奏して頂くことが出来ました。



また、この「長崎夜曲」と「長崎夜景」を全国に発信するため、「ながさきひかるプロジェクト」という名のコミュニティーを立ち上げ、現在も多くの方に見ています。この「長崎夜曲」の楽譜を作成し、県下390箇所の学校や団体に配布し、定期演奏会などで演奏していただいております。



平成25年の「しおかぜ総文祭」に合わせて実施した「光のおもてなし」事業では、多くの協力企業やその社員をはじめとする市民の皆さまにご協力いただき、会社や家庭の明かりをつけ、カーテンを開けることで、「ボリュームアップされた長崎の夜景を高校生に堪能していただく」という活動に取り組みました。

これは全国から集まった高校生たちに大変好評で、SNSを通じて全国に長崎の夜景を拡散してくれました。

1時間だけカーテンを開けませんか？

全国の高校生に光の プレゼントを！

長崎サミットプロジェクト（長崎商工会議所・長崎経済同友会・長崎県経営者協会・長崎青年会議所・長崎県・長崎市・長崎大学）は、「しおかぜ総文祭」に集う全国の高校生を、世界新三大夜景に認定された「まちのひかり」でおもてなしいたします。

**日時： 7月30日（火）午後8時～9時
7月31日（水）午後8時～9時**
【節電要請の時間帯（～午後8時）の終了後の1時間です。】

長崎サミットプロジェクト参加の企業を中心に多くの企業・社員が各々の会社・家庭の明かりをつけて、世界新三大夜景の光のおもてなしをいたします。
ぜひ1時間だけカーテンを開けて、一緒に光のおもてなしをしましょう！



これを受け、平成26年10月～11月に長崎県内で開催された「がんばらんば国体・がんばらんば大会」に合わせ、「2014 光のおもてなし」として稲佐山山頂電波塔3本のライトアップを行いました。

「市民や企業の方々がライトアップされた稲佐山電波塔を見上げるために楽しんでカーテンを開けるとともに、観光客は展望台から光が増した夜景を見下ろし堪能してもらう」という事業で、長崎市民の一体となった「おもてなしの心」を感じてもらうことで、長崎世界新三大夜景への認知度・関心度をさらに高める事が目的でした。

多くの企業の協賛金やご協力のもと、電波塔3本のライトアップに加え、世界新三大夜景テーマ曲『長崎夜曲』に合わせたイルミネーションショー、学生による演奏会などを実施することが出来ました。

これにより、稲佐山鉄塔のライトアップが技術的に可能であることを実証することが出来ました。



まず、「2014 光のおもてなし」この時おこなったライトアップの設備概要です。

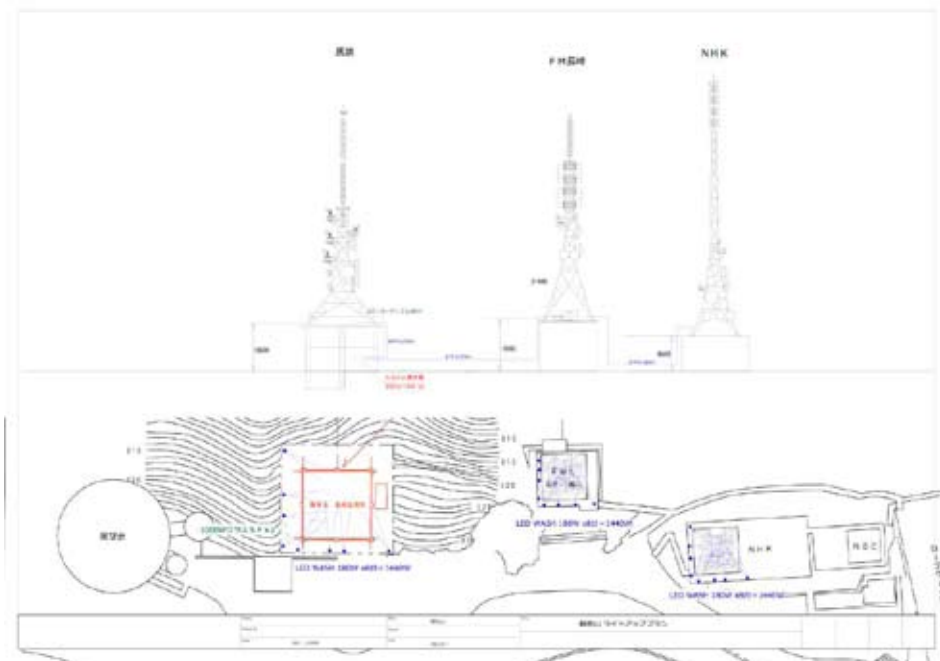
稲佐山山頂に三本の電波塔がありますが、各電波塔に二方向より大型LED 4 台、計 1 2 台を設置しました。

設置個所は建屋に仮設固定し上方に照射する方法といたしました。

イルミネーションショー用に音響システムスピーカーを 2 台設置しました。

コストは各社にご協力いただいたおかげで、設置工事、労務費、リース費用等含めて 3 1 8 6 0 0 0 円で行うことが出来ました。

電気代は試運転調整を含む 2 9 日間、1 8 時～2 3 時の・点灯で 1 2 3 6 9 円、一日あたりに換算しますと 4 2 7 円でした。

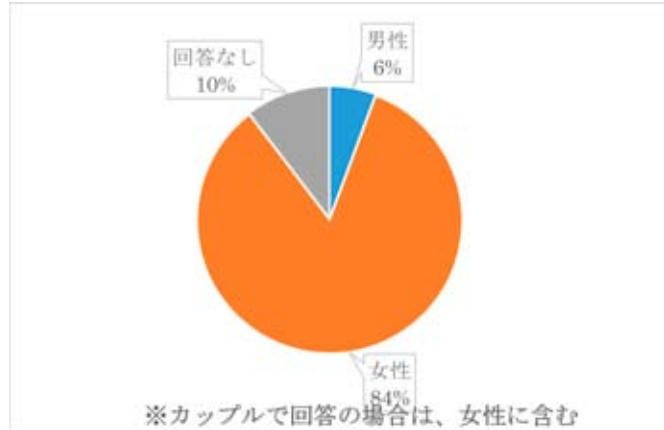
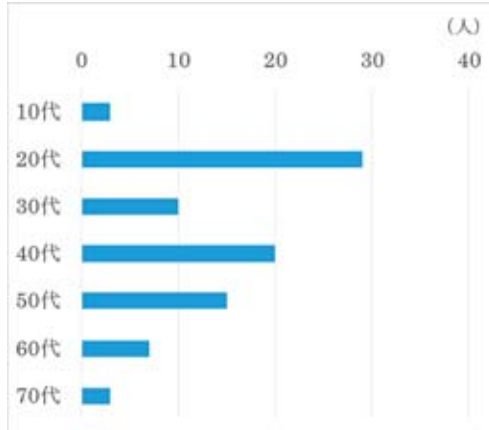


次に、電波塔のライトアップ時に山頂にておこなったアンケート結果です。

延べ106人に聞き取りアンケートをおこなった結果、

来訪者の年代別で多かったのは20代、次に40代、50代でした。

性別では、女性が全体の80%を占め、女性を含むご家族やカップル、友達同士が多く見られました。



どこから来たかという居住地別では、やはり九州からが多く、次に東京、北海道と続く結果でした。

ただし、相当数の外国人観光客がいらしたのですが、残念ながら言葉の壁によりアンケートは実施できておりません。ほとんどがアジア圏の外国人だった印象です。

1-Q1		
九州地方		
佐賀	3	
福岡	14	
大分	3	
熊本	6	
長崎	25	
鹿児島	1	
	52	
中国地方		
山口	1	
広島	1	
	2	
近畿地方		
奈良	1	
兵庫	1	
大阪	3	
	5	
中部地方		
愛知	1	
石川	1	
静岡	4	
岐阜	1	
	7	
関東地方		
千葉	1	
茨城	2	
東京	6	
埼玉	4	
神奈川	3	
群馬	1	
	17	
東北地方		
宮城	1	
	1	
北海道地方		
北海道	7	
	7	
海外		
台北	1	
台湾	1	
韓国	1	
フランス	1	
	4	
回答なし		
		11

多くが車、バスでの山頂まで来られ、滞在時間は「30分以内」ととても短かったようです。

Q1.どなたと来られましたか

① 1人で	7
② 家族で	19
③ 夫婦で	16
④ 友達と	29
⑤ カップルで	17
⑥ その他	5
回答なし	13

Q2.どのような手段で来られましたか

① 車	41
② タクシー	9
③ ロープウェイ	26
④ その他	14
回答なし	16

Q3.展望台滞在時間

①	30 分以内	53
②	1 時間以内	22
③	1 時間以上	9
④	2 時間以上	0
⑤	その他	2
	回答なし	20

長崎の夜景につきましては、おおむね好評でしたが、ひかりのおもてなし事業の認知度は低く、電波塔ライトアップを知らずにいらっしゃった方がほとんどで、無料送迎バスの車中で聞いたとのことでした。しかし、事業内容の説明をすると多くの方に応援のお言葉をいただきました。

Q1.夜景はどうでしたか

①	非常に良かった	80
②	良かった	19
③	普通	0
④	悪かった	0
⑤	非常に悪かった	0
	回答なし	7

Q2.「光のおもてなし」は知っていますか。

①	知っていた	25
②	知らなかった	72
	回答なし	9

Q3.「光のおもてなし」の取り組みについてどう思いますか。

①	たいへん良い	26
②	良い	25
③	素敵	7
④	知らなかった	6
⑤	その他	3
	回答なし	39

①～④について

- ・ただ夜景を「置いておく」ではなく、夜景を「ラッピング」しているみたいで素敵だった。
- ・全国から来られた国体の選手の方に長崎の夜景を知ってもらえる良いイベントだった。
- ・世界第三夜景の景色を、一層楽しめるのでとても良い取り組みだと思います。
- ・まちおこしのいいきっかけになると思う。
- ・長崎ならではのおもてなしでとても良いと思った。
- ・長崎を盛り上げるためにいいと思う。
- ・今までにないことなので、良いと思う。

⑤その他について

- ・期間限定でやるのは・・・
- ・意外と協力してないところが多い。
- ・いつもやっていると思っていた。

ライトアップ常設化については、ぜひ実現ほしいという声と、特別な物にしてレア感を出してはどうかというご意見もありました。

「電波塔のライトアップ」は知っていましたか。

- | | |
|----------|----|
| ① 知っていた | 31 |
| ② 知らなかった | 50 |
| 回答なし | 25 |

「電波塔のライトアップ」は期間限定ですが、どう思いますか。

- | |
|--------------|
| ① 続けてほしい(常設) |
| ② 期間限定でよい |
| ③ 分からない |
| 回答なし |

②期間限定でよい について

・特別感が出て良いのでは・・・

・週末、X'mas などイベント時が良い。

電波塔のライトアップや音響についてご意見、ご感想をご自由にお書きください。

- ・長崎らしくて素敵
 - ・もっと明るくしてほしい
 - ・目印になって良い
 - ・コンサートに行って聞かせてもらった。良かった。
 - ・稲佐山の頂上で、長崎夜曲が流れていて良かった。
 - ・葉加瀬さんの曲だけでなく、長崎の曲を流すのも良いのでは。
 - ・HTB のような 3D プロジェクトマッピングがあっても良さそう。
 - ・音楽は、展望台のほうでも流すと良いのでは。
 - ・ライトアップは必要だが、音楽はいらない(音量が大きすぎる)。←逆意見有り
 - ・ライトアップはもっと色が変わると良いのでは。
 - ・長崎夜曲を知らない。
 - ・葉加瀬さんのコンサートで長崎夜曲を知った。葉加瀬さんも喜んでいた。
 - ・宣伝が少ないのでは。「広報ながさき」に掲載してみても。
 - ・ライトアップは他の夜景スポットには無いから、良いと思う。
- (その他のご意見)
- ・展望台での「ハートエリア」が下水とトイレの匂いが気になる。
 - ・駐車場用のゲートが壊れることが多い。
 - ・駐車場が少ない、狭い。
 - ・パチンコ屋のライト点滅がいらない。
 - ・レストラン以外休憩場所がない。
 - ・途中の道が暗すぎる、道順が分かりにくい、表示をはっきりしてほしい。
 - ・宣伝が少ないのでは。「広報ながさき」に掲載してみても。

次に、独自に調べた全国のタワーの状況です。
 全国のタワー67塔を調べてみました。

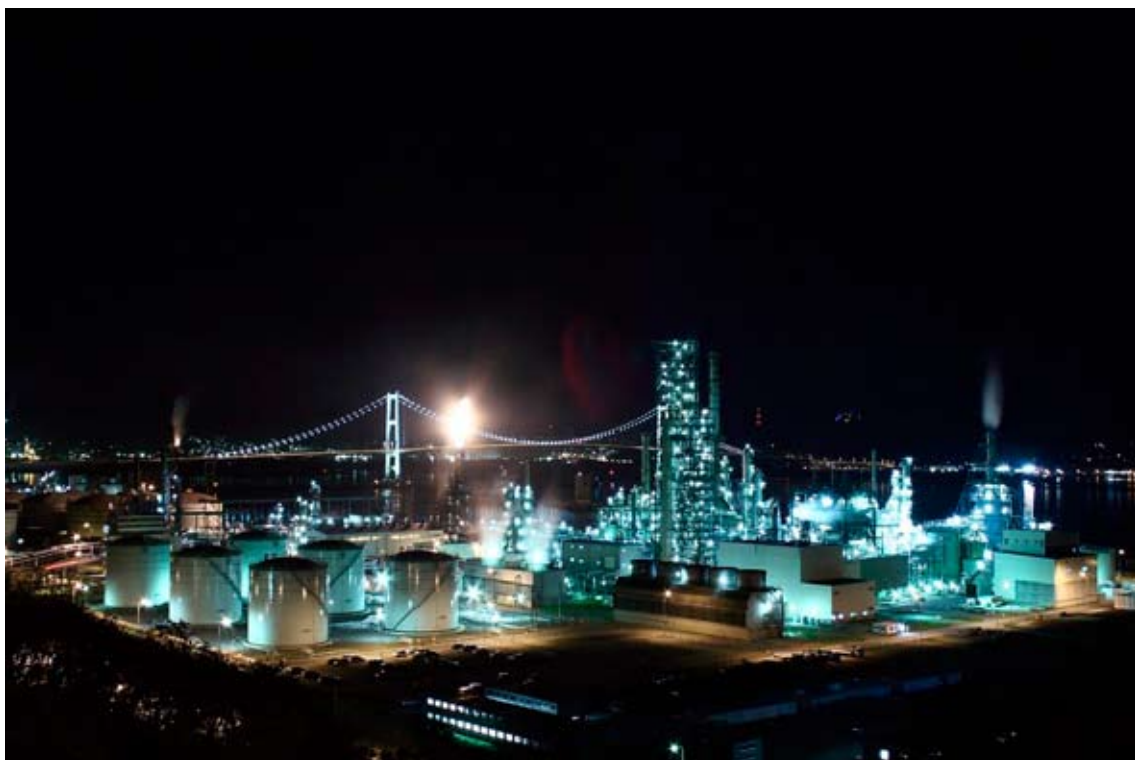
	名称	高さ	場所	竣工	ライティング	音楽	備考
1	東京スカイツリー	634m	東京都墨田区	2012年	有	無	イベント
2	東京タワー（日本電波塔）	332.6m	東京都港区	1958年	有	無	イベント
3	NHK喜望久喜ラジオ放送所ラジオ第1送信塔	245m	埼玉県久喜市	1982年	無	無	
4	瀬戸デジタルタワー	246m	愛知県瀬戸市	2003年	無	無	
5	福岡タワー	234m	福岡県福岡市早良区	1989年	有	無	イベントイルミネーション実施
6	スカイツリー西東京	195m	東京都西東京市	1988年	有	無	天気予報
7	名古屋テレビ塔	180m	愛知県名古屋市中区	1954年	有	無	
8	船橋三山送信所	181m	千葉県船橋市	不詳	無	無	
9	平野原送信所	182m	埼玉県さいたま市桜区	1971年	無	無	
10	NHK沖縄・沖縄テレビ放送所	165m	沖縄県豊見城市	1968年	無	無	
11	成田テレビ中継局	162m	千葉県成田市	1993年	無	無	
12	東山タワー（中京テレビ鉄塔）	163m	愛知県名古屋市中区昭和区	不詳 第30年以上	無	無	
13	ゴールドタワー	158m	香川県綾歌郡宇多津町	1988年	有	無	天気予報・イベント
14	海峽ゆめタワー	153m	山口県下関市	1995年	有	無	曜日毎変色
15	NHK仙台放送局 大年寺山テレビ・FM放送所	154m	宮城県仙台市太白区	1956年	無	無	
16	さっぽろテレビ塔	147.2m	北海道札幌市中央区	1957年	有	無	イベント
17	セリオン（秋田市ポートタワー）	143m	秋田県秋田市	1994年	有	無	
18	ツインアーク138（木曽三川公園）	138m	愛知県一宮市	1995年	有	無	天気予報
19	宮城テレビ送信所	138m	宮城県仙台市太白区	不詳	有	無	天気予報
20	針尾黒崎塔	137m	長崎県佐世保市	1922年	無	無	
21	東山スカイツリー	134m	愛知県名古屋市中区千種区	1989年	無	無	
22	京都タワー	131m	京都府京都市下京区	1964年	無	無	
23	千葉ポートタワー	125m	千葉県千葉市中央区	1986年	無	無	イベントイルミネーション実施
24	仙台放送 大年寺山送信所	126m	宮城県仙台市太白区	不詳	有	無	一時間毎変色
25	グローバルタワー	127m	大分県別府市	1995年	無	無	
26	東北放送本社送信所（トリシェイン）	128m	宮城県仙台市太白区	不詳	無	無	
27	クロスランドタワー	118m	富山県小矢部市	1994年	無	無	
28	宇和島展望タワー	110m	愛媛県宇和島市	1977年	無	無	
29	グリーンパークひびきタワー	111m	福岡県北九州市	1991年	無	無	
30	神戸ポートタワー	108m	兵庫県神戸市中央区	1963年	有	無	イベント
31	五稜郭タワー	107m	北海道函館市	2006年	有	無	時報機能
32	横浜マリンタワー	106m	神奈川県横浜市中区	1961年	有	無	イベント
33	ドムートルン（ハウステンボス）	106m	長崎県佐世保市	1992年	有	無	イベント時変色
34	静岡放送ラジオ送信所（静岡本局）	104m	静岡県静岡市駿河区	1967年	無	無	
35	通天閣	103m	大阪府大阪市浪速区	1956年	有	無	天気予報（ネオンサイン）
36	レインボータワー	104m	新潟県新潟市中央区	1973年	無	無	
37	博多ポートタワー	105m	福岡県福岡市博多区	1964年	有	無	
38	別府タワー	106m	大分県別府市	1957年	有	無	
39	鈴鹿山パノラマタワー	107m	新潟県西蒲原郡	1969年	無	無	
40	日本平デジタルタワー	95.5m	静岡県静岡市清水区	2006年	無	無	
41	シーパラダイスタワー	95.6m	神奈川県横浜市中区金沢区	1983年	無	無	夜間キャビン下部発光
42	宇都宮タワー	88m	栃木県宇都宮市	1980年	有	無	シーズン毎変色
43	太陽の塔	70m	大阪府吹田市	1970年	無	無	
44	平塚テレビ塔（千歳登山テレビ塔）	71m	神奈川県平塚市	1978年	無	無	
45	スカイワードあまひ	68.85m	愛知県尾張旭市	1982年	無	無	
46	木曽三川公園センター水と緑の展望タワー	65m	岐阜県海津市	1967年	無	無	
47	江戸崎テレビ中継局	64m	茨城県稲敷市	1995年	無	無	
48	大洗マリンタワー	60m	茨城県東茨城郡大洗町	1988年	無	無	
49	玉造・虹の塔（霞ヶ渚ふれあいランド）	61m	茨城県行方市	1982年	無	無	
50	いわきマリンタワー（三崎公園）	59.99m	福島県いわき市	1985年	無	無	
51	江の島シーキャンドル（江の島展望灯台）	59.8m	神奈川県藤沢市	2003年	有	無	年4回、イベント時変色
52	さんぶの森公園 グリーンタワー	59m	千葉県山武市	1988年	無	無	
53	シンボルタワー 未来MRM	60m	群馬県高崎市高崎町	1993年	無	無	イベント
54	天王スカイツリー（天王グリーンランド）	61m	秋田県湯上市	1991年	無	無	
55	綾子ポートタワー	57m	千葉県綾子市	1991年	有	無	イベント
56	すいとんあ江南展望タワー	58m	愛知県江南市	1994年	無	無	
57	東尋坊タワー	55m	福井県坂井市	1964年	無	無	
58	明石市立天文科学館 塔時計	54m	兵庫県明石市	1960年	無	無	
59	川崎広域レーダー気象情報システムレーダー基地局	52.3m	神奈川県川崎市麻生区	1989年	無	無	
60	ニコラス展望タワー	50m	北海道旭川市	1986年	有	無	
61	五老スカイツリー	51m	京都府舞鶴市	1995年	無	無	
62	浜名湖ガーデンパーク展望塔（旧きらのきタワー）	52m	静岡県浜松市西区	2002年	無	無	
63	東北電力岩手支店無線塔	53m	岩手県盛岡市	不詳	有	無	イベント
64	仙台スカイキャンドル	147.7m	宮城県仙台市	1962年	有	無	常時変色・イベント
65	ミヤテレビタワー	138m	宮城県仙台市	不詳	有	無	天気予報・時報
66	消防庁倉鉄塔	—	山口県下関市	不詳	有	無	平成26年3/31～
67	測量山電波塔	40m	北海道室蘭市	不詳	有	無	昭和63年7/29～ライトアップ

この中で、ライトアップを実施しているタワーは28塔。

備考欄に状況をかいてありますが、常時光らせながら、クリスマスなどイベント時に変色させるタワーが多く、翌日の天気を色で予報するタワーも6塔あります。

今回の稲佐山のように、音楽と連動したイルミネーションショーは、国内では該当しませんでした。

今年度、我々はこの中の、北海道室蘭市の測量山のライトアップを視察して参りました。
室蘭市は北海道の南西部に位置する工業の町で、工場や白鳥橋を利用した「工場夜景」にも力をいれており、夜景観光バスやナイトクルージングなど行っています。
測量山のライトアップを運営している（財）室蘭ルネッサンスと測量山ライトアップについて少しご紹介します。



(財)室蘭ルネッサンスは昭和63年に市民に呼びかけ7千万円もの資金を集め市民財団として設立しました。

この時まで室蘭は「鋼の室蘭」とよばれる企業城下町でした。

しかし、時代が変わり平成2年に企業の事業撤退が決定され、人員の流失・関係企業の撤退は必至であり、屯田兵入植100年の町の歴史がある室蘭の将来を守るため、「市民が自分たちで作る、街作り」を目的にし、13万人の市民に呼びかけ財団を設立しています。

「ルネッサンス」の名は、鉄の町から「知と人材のまち」に変貌をとげる事に成功したアメリカのピッツバーグの再生をモデルにしているそうです。

そして、この室蘭の測量山には7本の鉄塔があり、ライトアップは北海道電力が平成元年の「はまなす国体」の準備として昭和63年の「むろらん港まつり」に併せて作り、3日間だけ試験点灯されました。

国体期間中は毎日点灯された後、撤去される予定でしたが継続を願う多くの市民の要望を受け室蘭ルネッサンスが資金を集めて常設化したものです。



この電波塔のライトアップ運営は室蘭市民の「室蘭を愛する思い」でなっています。

一回点灯に4000円でメッセージとともに申込みすると電波塔がライトアップされる仕組みで、メッセージはFMラジオで毎日17:55に読み上げられ、新聞二社に掲載されるようになっています。

この仕組みで常設後、約25年9500日を超えて今日まで一日も絶やすことなく連続点灯を続けています。

この連続点灯は設置・運営・メンテナンスに至るまで一切行政に頼らず全て室蘭ルネッサンスが市民の点灯料で行っているそうです。

観光が一番の目的ではなく、愛する室蘭の町を元気にするため、というスタンスと強い意志が伝わり、ふるさとのために「市民ができること、それを考え、声に出し、そして皆なで行動に移す」という・市民の熱い思いがあり、まさに市民参加型で市民の生きる証のようなライトアップでした。



「歌祭略」
 ○30日(火)▽東京
 日本大震災や震災復興に
 関した一日お祝い復興を祈る共
 同イベントの灯がいつまでも燃え
 花街を照らす
 △結願するたびに感じる事は、
 祈の燃焼して、自分を育んでく
 る大きな事です。この光を燃焼
 温かく感じ出している人々
 へ「これなら人びとの思いを
 事を願っています」一柳井清菜
 (本)▽明けましておめでとう
 市民の希望にこたえて幸せな一
 年に「燃え」つ 照満光の会
 △高層のシンボル測望山の灯が
 る事を祈る「本」草草式
 松崎樹田
 △市勢の発展と「メイト」の
 「三」スロープ「燃焼」(燃焼)
 場所、東京海上日動火災保険
 △野間さんには取材を通して多
 多きました。言葉の光「燃焼」
 いた燃焼の気持ちで、全「燃焼」
 「さん、ありがとう、あなたを
 いっついで心の中に生きていま
 松平孝子
 △市勢の発展と「メイト」の
 「三」スロープ「燃焼」(燃焼)
 サンス事務局連絡先「電話」局

「歌祭略」
 ○6日(火)▽おぼあちゃん90歳
 さん90歳のお誕生日おめで
 とです。これからは「燃焼」
 も元気で「燃焼」してください
 浩介、智子、博之、博
 之、龍太、有姓乃、淳
 央、美悠奈、達仁、尚輝
 奈、達仁、尚輝
 ○7日(水)▽室蘭市民
 の測望山への愛を燃焼
 表すとともに、測望山の連
 結点灯を願う「長崎商工
 会議所青年部」
 ○8日(木)▽輪西商店街振興組
 街振興組の燃焼、いつ
 も燃焼が燃焼しています。
 イランカラブティ(チリ)
 (そ)と「メイト」の
 りが「燃焼」が、これからの
 北海道のおめでたの燃焼
 になる燃焼を燃焼した
 ました。全道に燃焼して
 かれんことを「燃焼」燃焼
 さんと大使「八百坂仁」
 ○室蘭ルネッサンス事務局
 局連絡先「電話」局

平成27年 1月 6日(火)

室 蘭 民 報

「測望山ライトアップ」
 (6日)▽おぼあちゃん90歳
 のお誕生日おめでとです。
 ます。これからは元気で
 して下さい「浩介、智子、博
 之、龍太、有姓乃、淳
 央、美悠奈、達仁、尚輝
 (7日)▽室蘭市民の測望山
 への愛情を燃焼表すとも
 に、測望山の連続点灯を願
 う「長崎商工会議所青年部」
 (8日)▽輪西商店街振興組
 合の燃焼、いつもありがと
 うです。イランカラブ
 ティ(チリ)と「メイト」の
 イケレ(ありがとう)が、こ
 れからの北海道のおめでた
 の燃焼になる燃焼を燃焼
 しました。全道に燃焼して
 いかれんことを「燃焼」燃焼
 さんと大使「八百坂仁」
 ◆室蘭ルネッサンス事務局
 局連絡先「電話」局

平成27年 1月 6日(火)

北 海 道 新 聞

さて、今回稲佐山電波塔のライトアップを行うにあたって色々な検討をおこなってまいりました。

そのなかで、参考として常設した場合の・コストですが、我々の独自の試算は2パターンあります。

・仮設で行った大型LEDの数は1塔あたり4台でしたが、これを増やし、1塔あたり12台設置し、さらにスピーカーも2台からメイン、サブ合わせて6台に増やした案です。

これに、イルミネーションシステムを・加えて3599万円でした。

また、・より演出の表現力を高める照明器具を追加したシステムプラン・で4394万円でした。

これは製作費、施工工事費も含まれた費用です。

Plot①

大型LEDフルカラーウォッシャー
塔全体を高輝度LEDで照射します。

1塔3台(1辺)×4辺=12台
×3塔=計36台



Plot②

LEDドットムービング
ドットで照射することができる最新型のLEDムービングライトを防水ドームに入れて照射することで正面演出の表現力を高めます。

各塔1台
計3台





5 提言内容

さて、我々は今回、ながさきの「稲佐山」「夜景」を広くアピールするために、3つのテーマを軸に「稲佐山鉄塔ライトアップ常設化」を提言いたします。

そのテーマとは
「愛」「遊」「祈」です。

まず、1つ目のテーマ「愛」です。
鉄塔のライトアップに愛を込めましょう。
愛といってもいろいろな愛があります。

まず家族愛です。

家族・友人・仲間の誕生日や結婚式、お祝い事に希望者の好きな色・点滅でライトアップを行い市民と一緒にお祝いが出来るようにしましょう。

たとえば、子供の好きなピンク色に、仲間の還暦のお祝い赤色に、結婚式のお祝いに赤と白など喜んでいただける事間違いなしです。

また、同時に室蘭のようにラジオや新聞などにコメントの掲載ができ、広く市民に知っていただければ、より特別な物になるでしょう。



次に愛といえば結婚式です。

稲佐山の展望台で結婚式をしよう。

展望台ホールにチャペルを併設し、結婚式ができるようにしましょう。ライトアップを背景に挙式をした二人の目の前には、世界三大夜景の贈り物。当然出席者もこの素敵な結婚式にあこがれ、2次会は盛り上がるでしょう。またライトアップは愛の鉄塔として夫婦の一生の思い出となり、子、孫へと受け継がれていくでしょう。



次に愛といえばハートです。

グラバー園にハートの石があることはご存知でしょう。

中島川にもハートの石があり、稲佐山の展望台にもハートのライトがあります。

これらのハートは恋人たちの間で話題となり現在も多くの恋人たちを引き付けています。

そこで、この3か所のハートを巡りアイテムを集め、電波塔に置くと鉄塔が特別な色に光、愛が叶うマジック、題して「ラブオリエンテーリング！！」



また、この3か所を線で引くと三角形が出来ます。

この中心は長崎港で出島ワープの正面になります。

そこでここからレーザー光線を出し、電波塔につなぐ光の架け橋とし、デートの最終地点とするのもよいでしょう。

題して「ラブトライアングル！！」

出島ワープから、また山頂からの風景は素敵で、恋人たちの集客間違いないでしょう。



愛を絡めた、「愛の願掛けジンクス」

突然ですが、皆さん、愛の南京錠の儀式はご存じですか？

南京錠に二人の名前を書き、思い出の場所につけ、二人の永遠の愛を願うという儀式です。

ヨーロッパで始まって全世界に広まり、日本でも各所で行なわれて有名です。

このような儀式を稲佐山で行うのはどうでしょう。

例えば、稲佐山のふもとにある淵神社で絵馬を購入し、山頂に飾ることにより愛を願うというストーリーを描くのです。(絵馬は定期的に回収し大晦日にお炊きあげしてもらいましょう)

そうすることにより、ロープウェイ利用者は増え、山頂は賑わうことでしょう。



次に、2つ目のテーマ「遊」です。
鉄塔のライトアップで遊びましょう。

電波塔のライトアップをキャンドルの火にしてみましょう。

インターネット上には、遠近法をうまくつかって、イタリアのピサの斜塔を支えたり、シンガポールのマーライオンの水を飲んでいるような写真がたくさんアップされています。

プロジェクションマッピングなどを利用して稲佐山にキャンドルを映し出し、電波塔を火にみたててライトアップします。

出島ワープで、ケーキを持ち、キャンドルと電波塔が重なり合うようにすると誕生日のケーキのように映るでしょう。ロウソクの火を消す格好で写真を撮ると、なんと本当に消えてしまうなんて素敵じゃないですか？

これは、ぜひ、長崎でも遊んで頂きましょう。



遊びで稲佐山といえば、音楽イベントでしょう。

稲佐山の野外ステージでは、全国から人が集まる野外ライブイベントが毎年数多く行われています。

この音楽に合わせたイルミネーションショーをすると、来場者は喜び、展望台にも必ず上って頂けることでしょう。

アーティスト達もきっとまたこの場所でライブをしたくなり、ライブ誘致につなげることができるでしょう。



また、みなとまつりのようなイベントとコラボレーションし、音楽・花火に合わせてライトアップを楽しみましょう。



次に、長崎に来られた方をライトアップで「おもてなし」をして、楽しんでもらいましょう。

長崎サミットで上田会頭が提案されておられました案をもとに、修学旅行の学生やコンベンションで来崎された方々を特別な色やイルミネーションで「おもてなし」したいと思います。

学校のイメージカラーや校歌に合わせたイルミネーションショーなど一生の思い出になる演出をしましょう。

また、現在、長崎には多くの客船が入港しており、今後も増やしていかなければなりません。

そこで、客船のお客様にまずはライトアップでお出迎えしましょう。国や船のイメージカラーにライトアップし歓迎します。

出港時には感謝の意味を込めたライトアップでお見送りしましょう。お客様はデッキに出て見てくれ、また長崎に遊びに来てくれるでしょう。光のモールス信号でサインを発信し、乗務員にお礼と今後の安全な航海を伝えるのも喜んで頂けるでしょう。



最後に、3つ目のテーマである「祈」。

世界遺産の登録を目指す教会群と関連遺産。

キリスト教の繁栄と激しい弾圧。そして奇跡の復活をとげた街長崎です。

信者の方々にとっても非常に重要な場所であることは間違いありません。

そこで、ライトアップを祈りの象徴としましょう。

クリスマスや復活祭など特別な日に祈りのライトアップをします。

各教会の外に出て稲佐山のライトアップを見ることで、各教会の祈りに一体感がでることでしょう。

市民が忘れてはいけない祈りも多くあります。

被爆都市長崎は市民も含め平和を祈る都市であり、これからもあり続けなければなりません。

その平和の祈りの象徴にしましょう。

原爆が投下されたその時も稲佐山はそこにあり、長崎の悲惨さ、そして、それからの復興を常に見てきたはずです。そして市民も稲佐山を見てきたはずです。その稲佐山にある鉄塔を祈りのライトアップとして平和への誓い、犠牲者の追悼と意を永久に引き継ぎましょう。

同様に長崎大水害などの日も同様に鎮魂の祈りのライトアップをささげましょう。



今回、「愛」「遊」「祈」のテーマで稲佐山ライトアップを提言いたしましたが、可能性は無限にあると確信しております。

なぜなら、この鉄塔は長崎市内のあらゆるところから見るができます。

国体期間中のライトアップで改めて調べるとグラバー園、新地中華街、平和公園、出島ワープ、水辺の森、県立美術館などの観光地から。



また、深堀、小ヶ倉、新大工、愛宕、浜口、三原台、女の都などの住宅街からも十分に見えることがわかりました。



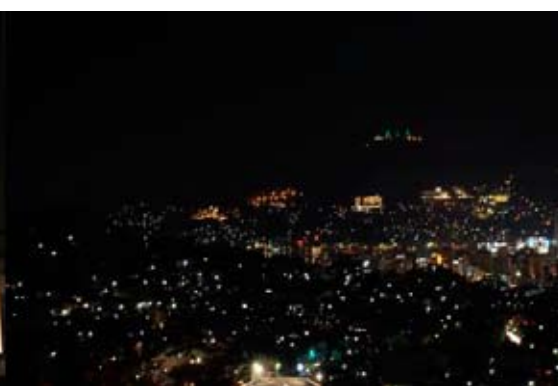
深堀



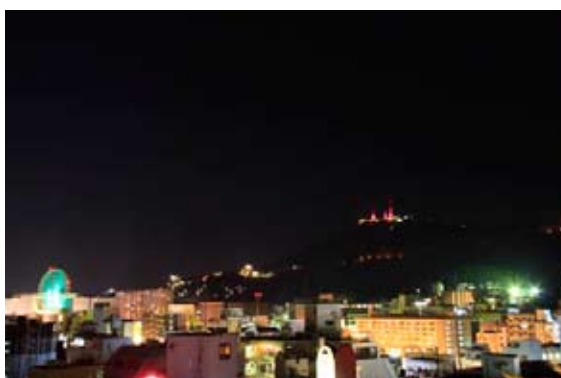
小ヶ倉



新大工



愛宕



浜口



三原台



女の都



福田

今回、稲佐山電波塔ライトアップ常設に伴い、三つのテーマ「愛」、「遊」、「祈」のテーマを持たせることで意味のあるものにしようという提言でした。

元より稲佐山は市民のシンボルでした。

これを、より県内外や観光客にアピールし三大夜景のイメージアップや、教会群と関連遺産の関連イベント、市内の施設の活性化に利用しましょう。

そして、今後「長崎市民」が県外などに移住しても、長崎を想ったり、県外から帰省した時に、ライトアップされた電波塔を見て、「帰ってきたな～」と思わせる郷土作り。

そして、いつまでの長崎人の心に残る故郷の稲佐山をライトアップし一生涯故郷を愛し、誇りに思える長崎。そして稲佐山を守っていきましょう。





1 プロジェクト名

「斜面地活性化プロジェクト」

「斜面地」を活用し「定住人口」を増やそう

2 提言のねらい

我々が住む長崎は、深く入り込んだ長崎港の周囲に注ぎ込む河川兩岸の平坦地と、この港を見下ろす山のふもとの斜面地で作られたまちです。長崎市街地だけみても、総面積の7割が斜度5度以上、標高20m以上とされています。

このすり鉢状の「坂の町長崎」は、世界新三大夜景に認定された理由でもあり、客船の来航時には、「世界中にこのような素晴らしい風景は無い」とも言わせる地形で観光客をもてなしてきました。また、この坂の町は日照や通風の良いととても素敵な住宅街も作り出しています。

しかし、長崎の斜面地の住宅街は、1960年代以来、市街地の発展と共にだんだん畑を住宅街に形成したため、あぜ道を転用した狭い道や階段が多用され、結果的に自動車が通れるような生活道路が作れないまま、高齢化社会を迎えることとなってしまいました。

現在では、若年層の流出に伴う人口減少・医療問題・空き家問題・生活困難者問題・防火防災対策等の多く問題を抱えるようになってきています。

長崎市におかれても、長年にわたり斜面地問題のために種々施策を講じられてきたことは承知しておりますが、斜面地の問題解決、利用方法について我々としても少しでも貢献できないかと考え、「ながさき斜面地活用プロジェクト」と題し、「坂の町長崎」を住みやすく楽しい街にしていくことを目的として、以下の具体的提言をいたします。

3 斜面地の状況

まず、長崎市の斜面地の状況です。

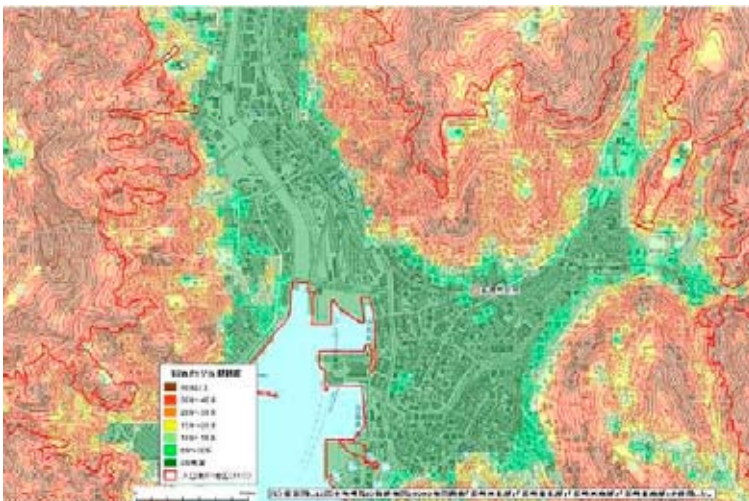
長崎の町は山あいを縫うように市街地が広がり、斜面を這い上がって広がっていくようにできており、全国有数の斜面都市です。斜面地サミットの初開催地でもありました。

下の画像は、駅前から長崎街道に沿って広がる斜面地ですが、山間に隙間なく住宅が広がる長崎特有の景観が形成されています。

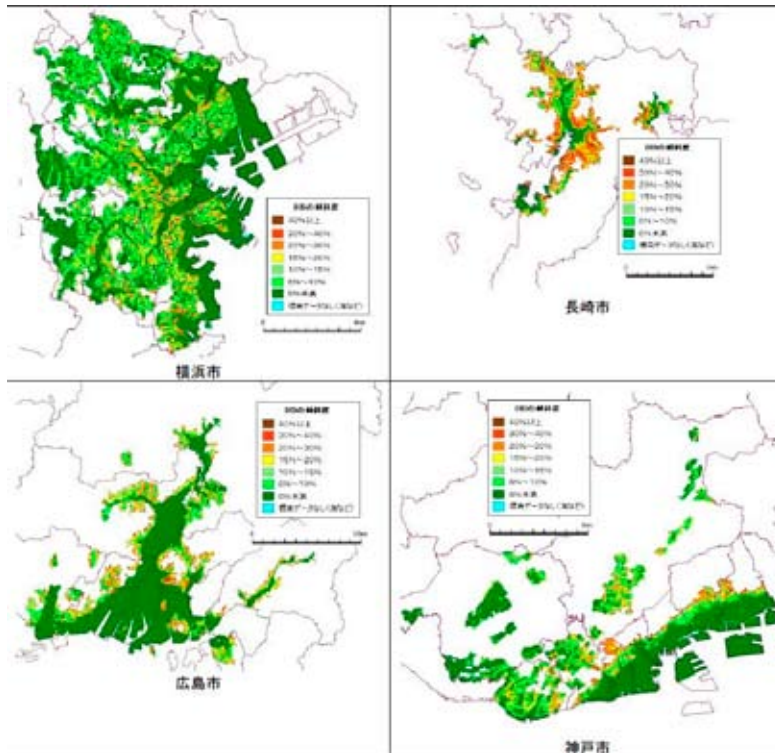


下記図は、長崎市中心部の地図ですが、赤いラインが人口集中地区です。

緑の平たん地にとどまらず、茶色や黄色で示された傾斜のある土地に大きく市街地が広がっていることがわかります。中心地に近いところに斜面地の市街地が広がっています。斜面地の割合が高い都市としては熱海市がありますが、もともとの市域が小さく、ボリュームはそれほど大きくありません。

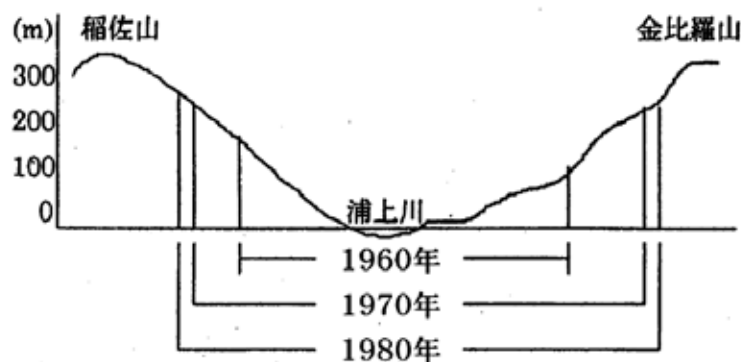


下は、港町という側面で共通点がある横浜や神戸、それに広島と比較した地図です。一見して、長崎市の場合、斜面地の割合が高いことが見て取れます。横浜市は斜面地の面積が大きいのですが、割合はそれほどでもありません。



斜面地の住宅は、安価な土地を求めて、1980年代まで拡大を続けてきました。浦上川を挟んで両側の山の斜面に市街地が広がっており、1980年代までは広がり続けていたようです。

この斜面地住宅は、段々畑が広がっている中、畦畔（けいはん）、あぜ道の両側に住宅を建設したので、車両が入らないような細い路地でつながり、路地が張り巡らされているのが特徴です。



下図のように、水路などのわきに狭い石段が続いており、平たんな横道が石段をつないでいます。これらの斜面地の住宅地は、現在では高齢化が進み、様々な課題が出てきています。

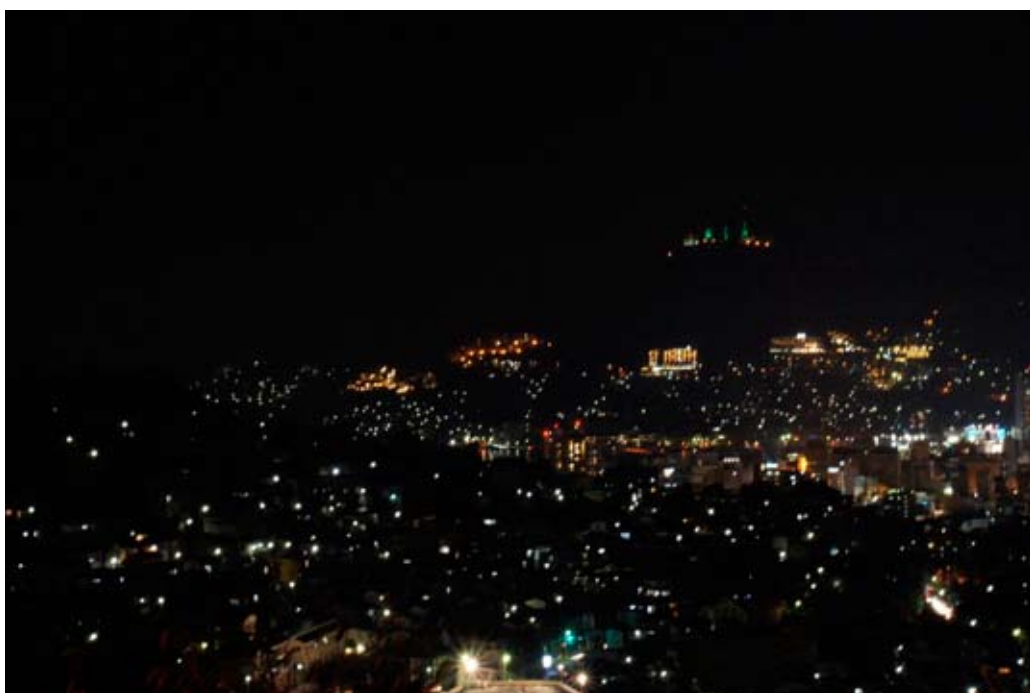
典型的なのは、足腰が弱ってきたお年寄りの上下移動が困難になってしまうことです。介護などの車にたどり着くまでお年寄りを背負って移動する必要があるなど、生活や介護に大きな負荷が生じています。



ただ、長崎の夜景は斜面地住宅に支えられているといっても言い過ぎではありません。住宅の窓からの明かりや、張り巡らされた路地の街灯がひとつひとつの光の点となって長崎のやわらかい夜景を形作っています。

香港の夜景などは、中腹にあるホテル群の夜景だけで構成されているようなものですが、長崎の場合、水面（みずも）からホテル群までの帯に広がる光の粒は、斜面地に暮らしている人々の「暮らしの明かり」です。

その意味で、斜面地は「観光資源」としても重要な役割を果たしており、そのすべてを今までと同じように維持することは難しいにしても、大事な存在だと思います。私たちは、この斜面地の活性化の途を求めていく必要があると考えています。



4 提言内容

斜面地の抱える課題は、防災・防火、老朽化や建て替え、空き家問題、生活・介護と多岐にわたっています。とりわけ、上下移動に関係する生活・介護は大きな問題ですし、ほかの問題にもこの上下移動の問題がかかわっています。

私たちは、

- ① 防災問題
- ② 空き家・建築、リフォーム問題
- ③ 斜面地の楽しみ方

について提案したいと思います。

まず、①防災問題です。

斜面地は、台風や長雨などによる土砂崩れの危険性と隣り合わせです。33年前の1982年の長崎大水害では、斜面が大きくえぐられ、各地で土砂崩れを起こしました。

また、火事が発生した時に、消防車が入らない場所も数多くあります。斜面地がアクセスしにくい状況は今後とも大きく変わらず、地域防災を充実させて防災・防火訓練や防火用水の整備、消火器の用意などの取組みが大事です。その上で、今後は、近年急速に進歩してきたセンサー技術の活用検討も必要ではないかと思います。

センサーで土地の歪みや居宅の熱を感知し、クラウドにデータを集めて解析・対応する仕組みは？



圧力変化や温度変化などを感知するセンサーは、どんどん小型化し、安価になってきています。とりわけ、特定の変化を感知するのに特化すれば、非常に安価にできるようになってきています。また、小さい太陽電池で情報をクラウドコンピュータに送り、そこでメッシュ解析をすれば、土地のひずみがわかります。どの程度ひずめば災害につながるかは蓄積が必要ですが、今後はこういった新技術を試していく場としても長崎は適地だと考えています。そうなれば、これまでデメリットだった斜面地の課題が、「課題解決先進地」として逆に強みに転じる可能性が出てきます。

次に、②空き家・建築、リフォーム問題です。

斜面地住宅の空き家は年々増えています。老朽化した斜面地住宅の建て替えは法的制約のため非常に難しい問題を抱えており、これまで、この法的制約を乗り越えるためにさまざまな取組がなされていますが、法制度の壁は厚く、長期的な取組が必要となってきます。

しかし、古くなった斜面地の家屋は住む人がいなくなり、空き家になると急速に廃墟化するおそれがあります。

そこで、できるかぎり空き家を使っていく取り組みとして、一定のリフォームを行った上で、子どもが多い家庭に無償で貸し出すのはどうでしょうか。斜面地に子供が増えると、地域は活性化しますし、空き家も使えていいのではないのでしょうか。

また、空き家を改装しミュージシャンや芸術家に格安で提供し地域を芸術・文化の発信地にしましょう。

現代はネット社会で中央とのつながりが出来ますので、在宅で働くこともできます。



なお、前述のように、建て替えが必要な時、敷地に接する道路の幅が狭く、制度的に建て替えられないという課題がありますが、これについては、斜面都市としての特例措置を認められるよう息の長い取り組みが必要になると思っています。

ただし、仮に法的に可能となっても、資材運びが難しいという課題はあります。昔、建設に対州馬（たいしゅうば）を使って荷運びをして作ってきた斜面地住宅です。

これまで、斜面地の移動、運搬にはさまざまな取組がなされてきました。

道路を拡張して、傾斜度がきつくても軽自動車はいれるようにしようという取り組み。車が無理でもバイクが入れるよう少しでも改善しようとしています。



またグラバー園にあるような斜行エレベーターや、他県の人が見たら必ず驚くであろう、リフト式の斜面輸送機。エレベータを誰でも使えるようにしたマンションもあります。



しかし、これからはインフラ整備で「まち」を変えるのではなく、どこでも対応できる物を使い生活をバックアップしなければならないのではないかと。という視点から、動く「ひと」のほうを変えられないかと考えました。

そこで、目覚ましい勢いで進化しているパワーアシスト機器を取り入れていきましょう。

サイバーダイン社が作っている「ロボットスーツHAL」は、医療介護用で作られ、脳波を計測しながら前にすすむ装着型ロボットです。上半身もつけると重い物の持ち運びもでき

ます。

このメーカーは足腰が不自由な方にも登山を楽しんでもらおうと、実際に4000メートル級の山に挑戦し成功しております。



このような技術が進んできているタイミングですので、斜面地の充実のために活用方法があるのではないのでしょうか。

資材運びの問題は、生活・介護が抱える上下移動の問題と同種、同根であるといえます。

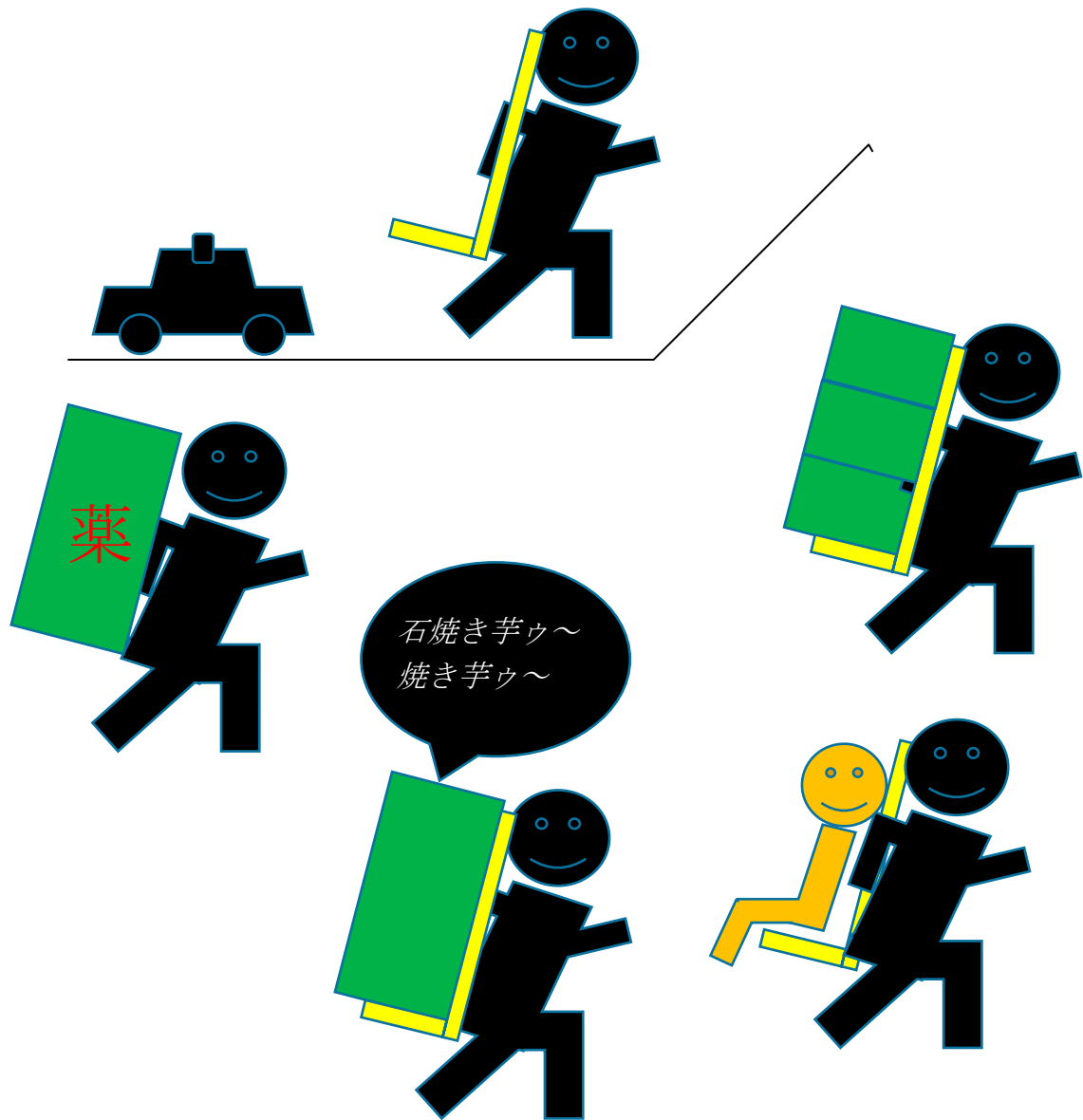
登山の場合と同じように、背負子のようなものでモノやヒトを運べるのであれば、

- 建築資材の運搬
- タクシードライバーが装着し、高齢者を玄関先まで運ぶ
- 宅配便は長崎では標準装備としましょう。
- ミニコンビニ
- 石焼き芋販売
- 介護の人も楽々送り迎え。
- 家電の無料回収

なども可能となるのではないのでしょうか。あるいは、観光客にレンタルで貸し出して、自由に楽に長崎をさるいてもらいましょう。

このように、斜面地で暮らすことがネガティブなものではなく、「景観いいし、風通しがいいし、いいじゃないか。」となると、もっと斜面地で楽しめるのではないのでしょうか。

また、長崎の斜面地住宅地が実験場所として利用されるようになれば、それを視察する人々も増え、斜面地の「負」の側面が俄然プラスに働くようになるのではないのでしょうか。



・長崎の斜面地にたくさんのロボットが働いている！！

こうなれば、とことん③斜面地を楽しみましょう。

新世界三大夜景ならぬ、多分まだ「三大斜面地」すらありませんが、二匹目のドジョウを狙って「世界新三大斜面地」の認定をしましょう。

これはイタリアのアマルフィですが、斜面地ならではの美しさがあります。



南米のチリで実際に行われている斜面地自転車レースですが、長崎でもできるのではないのでしょうか。



斜面地踊りなどどうでしょう。これは実際に京都・洛北の八瀬で行われている「赦免地踊」ですが、傾斜の大きい斜面地であることからついた名称だと言われています。普通のよさこいではなく、長崎では斜面地よさこいなどどうでしょう？



その他にも、

- ・とことん斜面地マニアを集めよう
- ・空き家さるく
- ・空き家のお化け屋敷
- ・斜面地そうめん流し
- ・心臓破りの斜面地マラソン
- ・長崎100坂スタンプラリー
- ・坂道映画祭
- ・斜面地ピタゴラスイッチ（小さいお子さんがいる家庭の方はご存じだと思いますが斜面地を利用しながらいろんなものが動いていくものです。）

こういったことを積み重ねていくのも面白いでしょう。



それから、エネルギー問題もあります。

雨水を貯めて、急傾斜を利用した水力発電なんかもできないでしょうか。

また、空き地をハンモックヤードにして、市民の憩いの場に出来ないでしょうか。



生クリームを振るとバターができますよね。かなり無茶かもしれませんが、カプセルに入れ斜面地を転がしてバターを作しましょう。

ご当地バターで売り出すなんてどうでしょう。



また、斜面地にボールを転がすと相当加速度がつきます。

これを利用して、バッティングセンターを作ったらすごいでしょね。

他にも、斜面地の上から紙飛行機を飛ばして、多分家の屋根に落ちて怒られると思いますが、子供たちは喜ぶのではないのでしょうか？

このように、いろんな斜面地を住宅地だけと捉えるのではなく、高低差を利用していろんな楽しみを見出そうと言う提案でした。



階段に感圧板を利用してメロディーが流れれば、階段の登り降りも楽しくいけるのではないのでしょうか。これは、中国の杭州などで実際に行われているようです。長崎の有名な階段に仕込み、「長崎夜曲」なんて面白いのではないのでしょうか。



今回、「定住人口を増やす」ために検討を始めた「斜面地を活性化」は、息が長い取り組みとなります。

我々商工会議所青年部は、この問題は何か一つ対策を打ち出すと解決する問題ではないと思っています。今回のような斜面地の問題を乗り越え、そして楽しむアイデアなどを今後とも考え、未来に向かって取り組んでいきたいと考えています。